

ここが大好き



【学校教育目標】
夢にむかって 今 キラリ
-なかよく・かしこく・すこやかに-
令和6年11月25日
大仙市立南外小学校

2・5年生 食育教室

学びを生活に

19日(火)は毎月設定されている「南外小食育の日」でした。この日に合わせて2年生と5年生が食育教室を行いました。



2年生は「カルちゃんとなかよしくなろう」というめあてのもと、カルシウムの果たす役割やカルシウムが含まれている食品を学びました。大人と子どもの手の骨の写真から、カルシウムは成長過程で骨や歯のもとになることを知り、体に必要な栄養であることを理解していました。同じ栄養素が含まれている食品をたくさん知ること、好き嫌いがあっても他の食品で補うことができますね。

5年生は家庭科の学習にゲストティーチャーを8名お迎えし、「ごはんとみそ汁」の作り方を教えていただきました。学習の中で、みそ汁に“だし”を使うことでおいしくなるだけでなく、減塩につながることを学びました。また、理想は「やかましい”みそ汁”」だそうです。どんな意味でしょうか？ 5年生は、ぜひお家で実践することで生活に生かしてほしいですね。



久々の再会に歓喜

6年 交流授業②

6年生にとって最後の交流授業が清水小にて行われました。この日は図工のしおり作りを通して、これまで4年間の交流に思いを馳せるような和気あいあいとした時間が流れました。最後の感想もさすがに6年生。この日だけでなく、これまでの交流を振り返って発言する姿が見られ、成長と収穫を感じました。中学校や高校でも、この関わりが生かされることを願ってやみません。



命の出前講座

自分を見つめ直す機会に

生きることのすばらしさを学び、自他の生命を大切にしていこうとする態度の育成を目的に、命の出前講座を実施しました。指導してくださったのは県の助産師会の方々です。



子どもたちは生命の誕生から胎児の成長の様子を、疑似体験を交えながら学習しました。生後間もない赤ちゃんの模型を恐る恐る抱く姿は、男女を問わず照れくさそうで、生命の重さを実感している様子でした。助産師会の方からは「みんなに幸せと喜びを与えているあなた方は、生きていてだけで100点満点」という言葉をいただきました。参加してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

つながりを大事に

居住地校交流

居住地校交流とは、特別支援学校に通う子どもが自分の住んでいる地域の学校に行き、学習や行事に参加することを言います。「共生社会」を目指すため、障害のある者とない者が共に学ぶインクルーシブ教育システムの一環で行っているものです。

20日(水)は2年生の子どもたちが図工の学習を一緒に行いました。子どもたちにとっては一年ぶりの再会です。ローラーやスポンジなど、いろいろな素材を使って、グループごとに「ゆめのまち」を描きました。個々の思いを大事しながらも、友達と一緒にイメージを共有して作業を進める姿を見て、交流のねらいにふさわしい活動であったと強く感じたところです。

2年生の子どもたちは学級活動で、この日だけの交流とまらないための話し合いを行っています。自分たちでできる、心と心がつながり続ける取組を、今後も期待したいと思います。



大仙ふるさと博士育成事業 冬の特別企画 「農業体験・企業見学DAY」のお知らせ

大仙市西部新規就農者研修施設 冬野菜の収穫体験等
12/26(木) 10:00~11:00 定員15名

農事組合法人たねっこ 冬野菜の収穫体験、施設見学等
12/27(金) 10:00~11:30 定員15名

興栄建設株式会社 建設業の説明、工場の見学
1/7(火) 13:30~15:00 定員15名

合名会社鈴木酒造店「秀よし」 製造工程の説明、各種見学
1/8(水) 13:00~14:30 定員20名程度

詳細の確認と申込みは大仙市教育委員会HP内の
「大仙ふるさと博士育成」事業のページからお願いいたします。
「冬の特別企画」ページはこちらから▶

※質問等がある場合は、大仙市教育委員会事務局教育指導課(63-1111(代))まで連絡してください。



キラリ★みどいっ子

☆ 第14回ふるさと給食献立コンテスト

努力賞 5年 ○○○○ さん 「ほほえみカボチャとクリームチーズのサラダ」